

(所感)

ポルト市・ヴォスロール村姉妹都市提携 40 周年及びライデン市
姉妹都市提携記念訪問団に参加して

長崎市議会議員 深堀 義昭

9月24日から10月3日までの日程で、昨年11月に、姉妹都市提携調印を行ったライデン市と、今年、長崎市との姉妹都市提携40周年を迎えたヴォスロール村とポルト市を訪問し、長崎市と各都市のこれまでの交流や今後の展望等について意見交換を行ってまいりました。

【9月25日(火)】

ライデン市長を表敬訪問するとともに、ライデン市のシーボルトハウス、ライデン大学植物園、国立民族学博物館を視察しました。

ライデン市のシーボルトハウスやライデン大学植物園では、シーボルトが日本から持ち帰った数多くの資料や植物などを見ることができ、オランダ国立民族学博物館では、川原慶賀の長崎港周辺を描いた風景画の貴重な原画を見ることができました。同博物館には約5千点のシーボルトコレクションが保管されていますが、その中でも川原慶賀の原画に関して、特に和紙について研究をしていることに非常に関心が持てました。川原慶賀が長崎港を中心とした風景画を制作されていることについて敬意を表したいと思います。

また、ライデン大学その他についてもシーボルトの足跡が残されているものとして、今後とも、長崎とシーボルトの関係によってオランダとの交流を続けてほしいと思った。

【9月26日(水)】

在オランダ日本大使を表敬訪問しました。猪俣特命全権大使から、日本とオランダとの関係について説明されるとともに、日本のオランダに向けた王室同士の長いつながりが世界平和の貢献に役立っているのではないかと感じ、日本とオランダの間の友好関係が長く続いていくことを期待します。

【9月27日(木)】

フランス国立自然史博物館視察及び在仏長崎県人会との夕食会に出席をしました。

フランス国立自然史博物館では、恐竜展が開催されており、恐竜の化石が数多く展示されていました。今回、田上市長が進めている恐竜博物館における模

型制作の意見や、長崎での制作について約束をいただいたことについては非常に感銘をし、そのようなものをきちんと展示をしながら長崎の恐竜博物館の一つの目玉となり、地域活性化につながってほしいと思いました。

また、在仏長崎県人会との夕食会においては、現地で数少ない長崎にゆかりのある皆様方が、長崎県人会ということに誇りをもって活躍をされておられることに非常に感銘を受けました。

【9月28日（金）】

ヴォスロール村長表敬訪問、姉妹都市提携40周年調印式及び昼食会に出席しました。

私は、姉妹都市提携30周年においても訪問しましたが、今回、出席をさせていただき、旧外海町の平野町長の記念館や敷地内の管理等についてもきちんと整備がされていました。また、ヴォスロール村は、人口がわずか約350人の小さな村であるものの、外海地区の友好市民団等も含めた形で、2年に一度の割合で交流を行っており、ド・ロ神父の父親の両親とその家族の墓についてもきちんと整備がされていたので、非常に嬉しく思いました。

また、聖オバン教会についても、無人化で維持管理が難しいと思われていたにもかかわらず、きちんと整備がされていました。平野町長と姉妹都市提携を結ばれたときの村長も健在で、10年前にお会いしたことについての話をしながら、思い出深いものがありました。

ヴォスロール村民や周辺自治体関係者等による夕食会、「平和の道」遊歩道開通式に出席をしました。特に「平和の道」遊歩道開通式は、ヴォスロール村と長崎市の姉妹都市提携40周年の記念事業として実施され、開通式では、関係者によるテープカット、エリアマップや標識の除幕式が行われましたが、遊歩道を「平和の道」と命名されていたことが非常に印象的でありました。

今回のヴォスロール村と長崎市姉妹都市提携40周年記念は非常に有意義であったと思うし、今後とも、ヴォスロール村と長崎市との交流が民間レベルで続いていくことを期待します。

【9月29日（土）】

リスボンの日本大使館を訪問し、新美特命全権大使等とポルトガルと日本、そして日本の長崎という立場での諸問題について意見交換をさせていただきました。

【9月30日（日）】

リスボン市内にある世界遺産のベレンの塔やジェロニモス修道院等を視察

しました。

ベレンの塔は、16 世紀に建てられたもので、テージョ川の船の出入りを監視することを目的とした要塞となっており、現在、記念碑が建てられています。

【10 月 1 日（月）】

ポルト市内視察、ポルト市長表敬訪問、ヒロシマ・ナガサキ原爆展開幕式等に出席しました。

ポルト市内にあるテイラー社のワインセラーやドン・ルイス 1 世橋等を視察するとともに、旧市街地を走る路面電車への体験乗車をしました。特に、ドン・ルイス 1 世橋は、ドウロ川に架かる橋として、道路と鉄道の併用橋で、幅 8 m、地上高 45m の二重構造で、上層の橋は歩行者と電車、下層の橋は歩行者と自動車を通る構造となっており、非常に興味深く、勉強になりました。

また、ポルト市長を表敬訪問するとともに、ポルト市役所での国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館主催のヒロシマ・ナガサキ原爆展の開幕式に出席しました。世界において原爆展が最初に開催されたのは、ローマのバチカンであったと記憶しておりますが、ヒロシマ・ナガサキ原爆展が世界各地で開かれ、世界平和のために貢献できる一翼になればいいと思っております。

さらに、長崎・ポルト姉妹都市提携 40 周年記念現代美術交流展の開幕式に出席しました。同美術展では、長崎市とポルト市の姉妹都市提携 40 周年を記念し、両都市の児童画とアーティストの現代美術品が展示されておりましたが、若い世代が交流していく一つの切っ掛けになればと思いました。関係者の皆さんに敬意を表したいと思えます。

今回の訪問を終えて、各都市との姉妹都市提携に至るまでの先人達の努力と功績に敬意を表するとともに、未来を担う若者達に、各都市の文化や歴史、長崎市との交流について伝え、今後ともより良い交流を続けていく必要があると感じました。

また、今後もますます長崎市との交流を深めていただくため、ポルト市、ヴォスロール村及びライデン市の市長、議長をはじめ多くの方々に長崎市へ来訪していただくことを願っております。